

第395回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成20年10月1日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野市岡田町131-7

株式会社長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 10名

○出席委員数 8名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

副委員長 中村重一

副委員長 松田幸子

委員 大橋俊夫

委員 小出貞之

委員 小松正俊

委員 塚田芳樹

委員 中島道生

委員 中條智子

○欠席委員の氏名

委員長 宮本忠長

委員 丸山仁也

4. 放送事業者側出席者

相崎由松(代表取締役社長)

堀真一(専務取締役・報道局制作局担当)

関義仁(取締役編成局・番組審議会担当兼編成局長)

飯鳶憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

春原晴久(制作局制作部長)

北澤輝久(制作局制作部・ディレクター)

山口慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル「ふるさとの風景～藤岡牧夫の世界～」

5月19日(月)午後7:00～7:54放送

6. 番組の内容

ふるさと信州の風景を題材に制作を続ける木曾出身で東京在住のイラストレーター、藤岡牧夫さんの独特の絵の世界を描く。藤岡さんと母校である木曾の大桑小学校の児童達との交流や、藤岡さんの指導で児童達が取り組んだ巨大絵の創作の様子などを織り込む。

7. 審議の概要

- ・ 番組全体に平坦な道を行く感じで、盛り上がり、つかみ所がなく、途中でダレてしまう感じを受けた。
- ・ 藤岡さんの静かな人柄、人間性や訥々と話す口調が番組のトーンになっていた。しかし、藤岡さん自身をもっと深く掘り下げるところがあっても良かった。
- ・ 藤岡さんの絵の中に、なぜ妖精のような子ども達が入っているのか、もう少しはっきりさせた方が良かった。
- ・ 「千曲川の水が汚くなった」ということが出てくるが、それだけで終わってしまって、その言葉だけ浮いた感じになった。
- ・ 全体的に懐かしい風景を見せてもらい、ほのぼのとしたいい番組だった。
- ・ 子ども達と一緒に絵を描いたのはいい試みだった。藤岡さんが子ども達の指導をしたが、その関わり方が良かった。
- ・ 藤岡さんの人間性と、その絵が人の心をなごませ、ほのぼのとさせるということが分かるいい番組だった。
- ・ 政治が混乱し悪質な出来事が多い中で、清涼剤のような番組だった。
- ・ 藤岡さんの素直な姿と子どもたちの生き生きした姿が印象に残った。
- ・ 番組の縦糸が何だったのか。何故この人がここに登場するのか、それを通じて何を見せようとしているのかよく伝わってこなかった。